

令和3年度 北九州市立富野小学校学校経営構想

基本理念

本校は、教育の専門機関として、教育活動を通して、児童一人一人が自立し、将来を心豊かにたくましく生きるに必要な力を育てていく。教育活動の展開では、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法、学習指導要領、本市教育委員会による指導の重点等の趣旨に沿い、児童や地域の実態、保護者・地域の願いや期待を踏まえ、本校の歴史と伝統を大切にしつつ、特色のある学校づくりを目指す。その実現には、教職員の全てが、学校経営に積極的に参加し、使命感をもって、児童のためにより良い教育活動を実践創造していかねばならない。また、公教育に従事するものとして、教育の中立性及び公正性を重んじ、教育への市民の負託に応えるべく、常に自己研鑽に努め、子どもへの教育を実践し、その責任を果たす必要がある。

学校教育目標「豊かな人間性、確かな知性、たくましい心身の健康」

めざす学校像

- すべての子どもたちが行き(生き)がいのある学校
- すべての教職員が働きがいのある学校
- すべての保護者、地域の方が頼りがいのある学校
- すべての人が気持ちよく過ごせる、きれいな学校

保護者の願いや期待
保護者の実態
保護者の信頼と情報

地域の願いや思い
地域の実態
地域の信頼と情報

めざす教師像

- 「子どもと夢を語り、ふれ合いを深め、共に汗を流す教師」
- 心身ともに健康で温かい思いやりと厳しさのある教師
 - わかる授業に取り組み、子ども一人一人を伸ばす教師
 - 使命感に燃え、常に自己研鑽に努める教師
 - 和を大切にし、協働意欲にあふれる教師
 - 保護者ならびに地域の方や子どもに信頼される教師

めざす子ども像

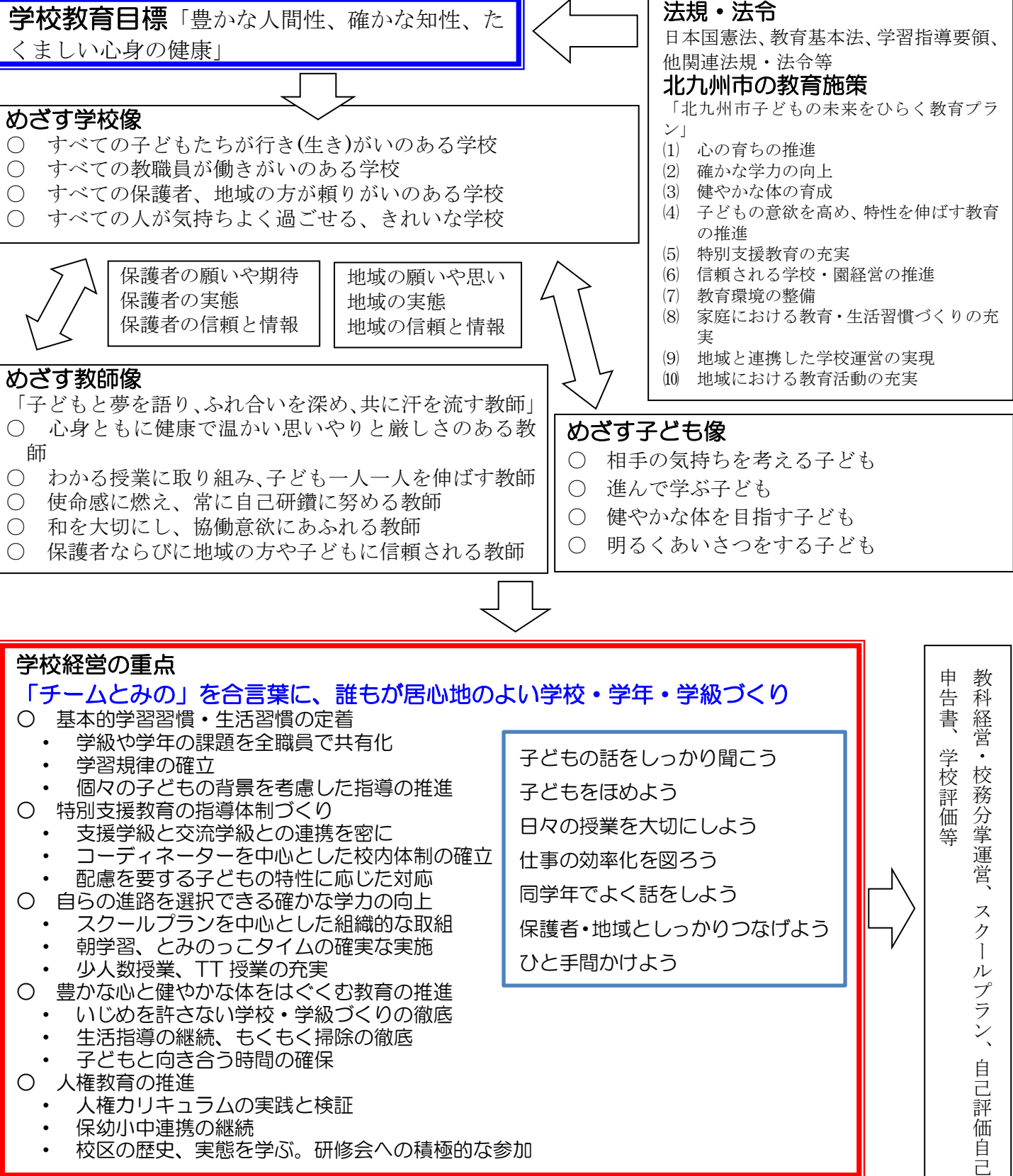
- 相手の気持ちを考える子ども
- 進んで学ぶ子ども
- 健やかな体を目指す子ども
- 明るくあいさつをする子ども

学校経営の重点

「チームとみの」を合言葉に、誰もが居心地のよい学校・学年・学級づくり

- 基本的学習習慣・生活習慣の定着
 - ・ 学級や学年の課題を全職員で共有化
 - ・ 学習規律の確立
 - ・ 個々の子どもの背景を考慮した指導の推進
- 特別支援教育の指導体制づくり
 - ・ 支援学級と交流学級との連携を密に
 - ・ コーディネーターを中心とした校内体制の確立
 - ・ 配慮を要する子どもの特性に応じた対応
- 自らの進路を選択できる確かな学力の向上
 - ・ スクールプランを中心とした組織的な取組
 - ・ 朝学習、とみのっこタイムの確実な実施
 - ・ 少人数授業、TT 授業の充実
- 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進
 - ・ いじめを許さない学校・学級づくりの徹底
 - ・ 生活指導の継続、もくもく掃除の徹底
 - ・ 子どもと向き合う時間の確保
- 人権教育の推進
 - ・ 人権カリキュラムの実践と検証
 - ・ 保幼小中連携の継続
 - ・ 校区の歴史、実態を学ぶ。研修会への積極的な参加

子どもの話をしっかり聞こう
子どもをほめよう
日々の授業を大切にしよう
仕事の効率化を図ろう
同学年でよく話をしよう
保護者・地域としっかりつなげよう
ひと手間かけよう



教科経営・校務分掌運営、スクールプラン、自己評価自己申告書、学校評価等